

## 第44回中国ミニバスケットボール大会出場報告書

光わかばミニバス

監督 野口 翔

私たち光わかばミニバスは、2月23、24日に開催された第44回中国ミニバスケットボール大会に出場しました。

今年度のチームがスタートした時に「全国大会出場」を目標に1年間頑張ってきました。前評判とはうらはらに中々思うような結果が出ず、子どもたちも自信を失いかけていました。ようやく地区予選で優勝し、県決勝大会に望みましたが、そう思い通りの結果はできませんでした。

悔しい結果となりましたが、チームは「中国大会で優勝」という目標に気持ちを切り替えて、準備をしてきました。しかし、大会1週間前に6年生が1人怪我で出場することができなくなるアクシデントに見舞われました。それでも、子どもたちはなんとか点差を開けて、数秒でも仲間をコートに立たせてあげたいという気持ちで準備をしてきました。

いよいよ23日初戦は地元鳥取県の美保南ミニバスでした。出だしは緊張からか少し硬い入りでしたが、徐々に自分たちのペースを取り戻し、無事に勝利することができました。

2戦目は、今大会圧倒的な力で優勝した広島県の駅家ミニバスでした。チームとしても予選リーグを1位で突破するために大事な試合でしたが、試合巧者の駅家ミニバスの前に敗戦となりました。

翌日は2位リーグでの戦いとなりました。3戦目は、岡山県の万寿ミニバスでした。前日の疲労からか思うようなバスケットが出来ず、大敗でした。

最終戦は広島県のラビッツミニバスでした。試合前に、6年生と1年間やってきた自分たちのできることを全てコートに出し切って終わろうと話をしました。頑張ろうとするあまり、硬くなりうまく前半は進みませんでした。しかし、後半はそれぞれの持ち味を発揮し勝利することができました。また、怪我をしていた6年生も最後にコートに送り出すことができました。

今回の中国大会の結果としては、2勝2敗の7位でした。またしても目標にしていた結果には届きませんでした。子どもたちは自分たちの目標に向けてひた向きに頑張ってくれました。また、怪我をした仲間を少しでもコートに立たせてあげたいという気持ちを持ち、最後は6年生8人が笑顔で大会を終えることができました。試合での勝敗ももちろん大切ですが、それ以上に大切な固い絆を手に入れた子どもたちだったように感じました。努力しても報われないこともあるけれど、努力しないと味わえない充実感を手にした子ども

もたちは、この先も大きく成長してくれると感じています。

最強寒波が襲来し、大雪に見舞われましたが、鳥取県バスケットボール協会の関係者の皆様のおかげで無事に大会を終えることができました。大会に携わっていただいた皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、山口県バスケットボール協会 U12 部会の皆様も大会に多数お手伝いに来ていただき、部会長をはじめ審判・MCの皆様にも感謝いたします。

最後に一緒に頑張ってくれた子どもたち・コーチ陣、そしていつも一生懸命に支えてくださった保護者の皆様に感謝いたしまして、出場報告とさせていただきます。

#### 試合結果

53	—	37	美保南（鳥取県）
33	—	57	駅家（広島県）
28	—	52	万寿（岡山県）
34	—	26	ラビッツ（広島県）